

FVI「声なき者の友」の輪
Friends with the Voiceless International



2025年 冬号

URL : <http://www.karashi.net/>

毎朝の祈り

あなたこそ私の内臓を造り、母の胎の内で私を組み立てられた方です。

(旧約聖書 詩篇 139:13)

目を覚まし、布団の中でからだを伸ばし、主が造ってくださった新しい一日を感謝し、まず主への賛美の祈りを捧げるのが毎朝のしきたりになっています。五感が正常に働くことによって食事を美味しくいただき栄養を体内に取り込み、呼吸によって取り込んだ空気と共に 10 万キロ（地球を二周半）にも及ぶ血管の中を流れる血液によって身体中の数十兆個の細胞に届けられ、不必要になったものは気体・液体・固体となって排泄されているこの不思議。さらに体内に張り巡らされた 100 万キロ（血管の 10 倍の長さ）にも及ぶ神経線維（脳内だけでも約 16 万キロ）の働きによって、すべての器官が順調に働いているからこそ、私のからだが今日も支えられている。これは決して「当たり前」ではないのです。この驚くべき小宇宙ともいえるからだのごく一部分に異常が起こっただけでこの地上での人生が終わってしまった友人たちの姿を見せられてきました。このからだを支えていてくださる創造主の絶大の愛と恵みを実感させられます。

ローマ 12 : 1 から “ふさわしい礼拝” を捧げたいという願いから、「この私のからだをあなたにおさげします。あなたのものとして受け取ってください。このからだをもってあなたの栄光を現わしてください。」と、毎朝、主への献身を新たにし、「聖霊の宮」としてのからだを「詩篇・ストレッチ運動」で大切にケアし、主と共に一日を楽しませていただく、これが私にできる霊的礼拝ではないかと思わされているこの頃です。

「声なき者の友」の輪 神田英輔

* F V I の働きは皆様からのご支援に支えられているカタリストによって担われています。 献金で各カタリストをご支援くださる際には、振り込み用紙に「神田指定」などとカタリスト名をご明記ください。